

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 3月1日号 全国酪農協会
牛群検定ワンポイントレッスンその69 乳量、季節変化を確認
自分の牛群が正しく季節変化しているかチェックしてみましょう。
- 2 LIAJニュース1月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その58)酪酸発酵サイレージによるケトーシス
酪酸発酵したサイレージを与えた牛群はどのような成績でしょうか? [検定成績表見方](#) [検索](#)

牛群検定! 点検シート(その12 健康管理)

お手許の検定成績を使いながら牛群管理の点検を行います。極簡単なものなので、この機会に検定員といっしょに確認を行いましょ! 今回は、検定成績の乳成分から健康状態をチェックします。

農家コード

氏名

・検定成績表を参考に牛を観察しましょう!

①成績表に分娩後60日までに乳脂率5.0%以上の牛がいる

Yes No →Yes 脂肪肝の可能性があり、繁殖成績が悪化します。

②成績表に分娩後60日までに乳蛋白質率3.0%以下の牛がいる。

Yes No →Yes 栄養不足により、繁殖成績が悪化します。

③P/F比が0.7以下の牛がいる

Yes No →Yes ケトーシスが疑われます。

④体細胞数が283千個以上の牛がいる。

Yes No →Yes 283千個以上は乳房炎の牛です。

⑤蹄の周りが腫れた牛(蹄冠スコア3以上)の牛がいる。

Yes No →Yes 蹄葉炎が疑われます。濃厚飼料の過多、選食が原因となります。

⑥分娩後良い発情がなく、初回授精が遅れる牛がいる。

Yes No →Yes 繁殖障害が疑われます。低カルやケトーシス、四変、難産などから併発することがあります。

Yesの対象となった場合は、当該牛を観察し、必要に応じて獣医師に相談しましょう。

農林水産省のICT・省力化機器導入を支援する事業を紹介します。

事業の仕組み等に関するお問い合わせは農林水産省生産局畜産振興課 03-6744-2587 まで。

畜産ICT事業、楽酪GO事業の補助対象 (補助率:1/2、労働負担軽減事業)



(BOX型) 搾乳ロボット



(ロータリー型)



ミルクパーラー(注1)



搾乳ユニット搬送レール



ミルカー自動離脱装置



乳頭洗浄機(注2)



自動給餌機



自走式配餌車



エサ寄せロボット(注2)



(据置型)



(レール型)



バーンスクレイパー



敷料散布機



発情発見装置(注2)



分娩監視装置(注2)



行動監視装置(注2)

・畜産ICT事業は1戸あたり国費3千万円が上限
・機械導入に伴う牛舎等の増築・補改修も対象(機械と同額まで)

(注1) 高度な搾乳方式への変更又は増設、新設に限る
(注2) 楽酪GO事業では対象外

＜対策のポイント＞

酪農家や肉用牛農家の労働負担軽減・省力化に資するロボット・AI・IoT等の先端技術の導入や、畜産農家に高度かつ総合的な経営アドバイスを提供するためのビッグデータ構築を支援します。

＜政策目標＞ [乳用牛産子：平成30年→平成36年まで、肉用牛産子：平成29年→平成36年まで]

子畜の出生頭数の増加（乳用牛産子：72.0万頭/年→74.4万頭/年、肉用牛産子：51.7万頭/年→54.7万頭/年）

＜事業の内容＞

1. 畜産経営体の生産性向上対策

- 畜産農家の省力化・生産性向上を図るため、以下の取組を支援します。
- ①搾乳ロボット・発情発見装置等のICT関連機械の導入
- ②畜産農家のICT化に向けた調査
- ③IoT機械装置の規格にあった家畜生産等の推進

2. 全国データベース構築

- 生産関連情報を一元的に集約する全国データベースの構築及びデータベースに基づき高度な経営アドバイスを提供する体制の構築等を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

1. 畜産経営体の生産性向上対策

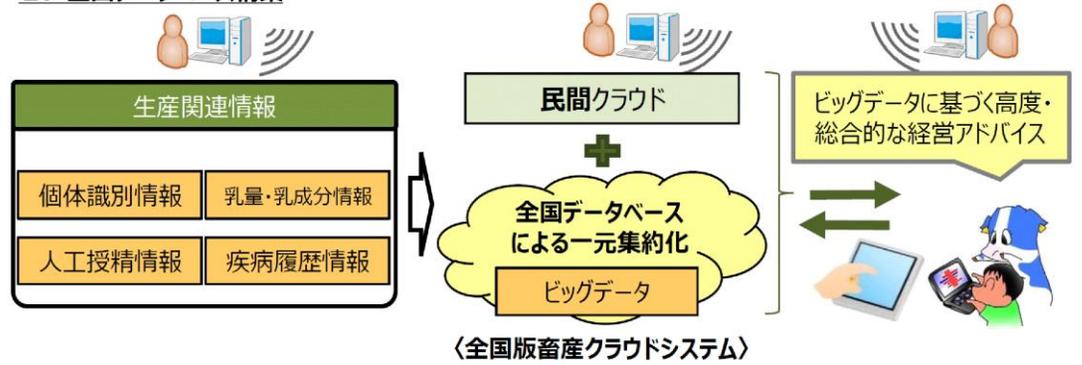
①省力化・生産性向上につながる機械装置（各種データ取得が可能）の導入を支援（搾乳ロボット・発情発見装置等）



②データ取得機械に関する調査
 ・新型機械の調査、具体的効果の測定等

③機械装置不適合家畜に関する調査
 ・乳頭がセンサーに認識されない家畜の調査等 (乳頭交差)

2. 全国データベース構築



【お問い合わせ先】生産局畜産振興課（03-6744-2587）

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO事業）

平成31年度所要額
 5,500百万円
 (5,000百万円)

- 酪農家における労働負担軽減に資する省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援。
- 乳用後継牛育成の負担軽減のため、育成牛の受入体制の強化を図る取組等を支援。

省力化機械装置導入と一体的な施設整備

施設の補改修・増築等



- ・既存の施設では省力化機械装置の性能が十分に発揮されない (例)
- ・通路が狭すぎてロボットの搾乳区域手前で牛が渋滞。
- ・牛舎の強度不足でレール式の大形・高効率の機械を導入できない。



【搾乳ロボット】



【ミルクングパーラー】



【搾乳ユニット搬送レール】



【自動給餌機】



【ほ乳ロボット】※レール式のもの

(施設と一体整備の必要のない餌寄せロボット、発情発見装置、分娩監視装置等は対象外)

その他

育成体制の強化

- 後継牛の育成体制を強化するため、
- 1 牛舎等の補改修
 搾乳牛舎から育成牛舎への変更に伴う内装の補改修等
 - 2 省力化機器の導入
 自動給餌機、ほ乳ロボット等の省力化機器の導入
 - 3 放牧場・運動場の整備
 電牧柵、牧草種子などの資材導入



拡張・機器整備

育成牛の受入頭数を拡大

集合搾乳施設の設定